

一般社団法人 日本リモートセンシング学会
国土防災リモートセンシング研究会ワークショップ

～次の大災害時に備えて、衛星画像の可能性～

近年、岩手・宮城内陸地震、東日本大震災等の地震災害、2011年の台風12号、2012年の九州北部豪雨、今年9月の台風13号による大雨など、広域かつ大規模な災害が続いています。宮城県における、復旧復興はその途上にあり、今後の大規模地震の可能性と合わせて、予断を許さない状況と言えます。一方、宇宙開発分野の進歩は目覚ましく、これらの災害把握に、衛星画像が利用され、その有効性が確認され始めています。

今回企画したワークショップは、これらの大災害時における衛星画像の活用事例を紹介すると共に、本研究会が、衛星画像を防災や国土情報整備などの実際の業務に活用することを念頭に取り組んできた成果をわかりやすくご紹介致します。また、災害時の衛星画像の活用に関して、より具体的な方策を出席者の皆様と一緒に考えようとするものです。既に衛星画像を活用されている方はもちろん、これから仕事で使ってみたい方、若い技術者の教育に活かしたい方のご参加を心からお待ちしております。

1. 日 時: 2014年11月27日(木)
2. 場 所: 東北工業大学 八木山キャンパス(JR 仙台駅下車バス約25分) 9号館3階934教室
3. 費 用: 無料
4. プログラム(案)
 - 13:30 開会
ご挨拶(日本リモートセンシング学会副会長: 赤松幸生)
 - 13:40 第一部 基調講演(司会:東北工業大学 今西 肇)
「リモートセンシングを活用した国土地理院の国土防災への取り組み」
国土交通省 国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析室長
中島 秀俊 様
休 憩
 - 14:50 第二部 国土防災分野における衛星画像の利用検討結果の紹介
(司会:国土防災RS研究会幹事: 齋藤亮(日本電気株式会社))
 - ① 国土マネジメント・国土防災の観点からの衛星データ活用ガイドラインの紹介
(実務利用WG: (株)安藤・間 黒台昌弘)
 - ② 災害時ガイドラインの紹介(経過報告)
(災害時ガイドラインWG: 中央開発株式会社 坂本淳一)
 - ③ InSARによる地盤変動計測技術の紹介
(In-SAR WG: 株式会社NTT データCCS 三尾有年)
 - ④ 災害時におけるSNSを活用した空間情報の活用方法の提案
(災害時SNS利用WG: (株)安藤・間 笠博義)
 - 15:50 第三部 新技術の紹介(司会:国土防災RS研究会幹事: 齋藤亮(日本電気株式会社))
 - ① SkySat 衛星による高頻度撮影サービスの紹介
(日本スペースイメージング(株) 李 雲慶)
 - ② マルチロータ UAV の最近動向
(宇宙技術開発株式会社 伊東明彦)休 憩
 - 16:20 第四部 将来の災害に向けた衛星画像・新技術の備えについて(ディスカッション)
1. 申し込み先(申し込み専用アドレス): ws-rssj@ml.ibaraki.ac.jp
2. 申し込み期限: 11月20日(木) (資料準備の都合がありますので、事前申し込みをお願いいたします)
3. その他: 本ワークショップに参加頂きますと、RSSJ および測量CPDポイントが認定されます(3ポイント)。
4. 主 催: (一社)日本リモートセンシング学会(担当:国土防災リモートセンシング研究会)
後 援: 日本写真測量学会, 公益社団法人地盤工学会 東北支部, 公益社団法人士木学会 東北支部
東北工業大学, 茨城大学 防災セキュリティ教育研究センター